

開講科目名 / Course	在宅看護論実習	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美、荒木 章裕、姫野 雄太、矢野 亜紀子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	実習	
科目の目的と概要	<p>在宅看護論実習では、訪問看護ステーションおよび在宅看護における多様な場での実習を通して、疾病や障がいをもちながら在宅で療養する人々とその家族に、継続的かつ予防を含めた看護を提供する。また、地域包括ケアシステムについて理解を深めながら、その人らしい社会生活を支える看護を探求することをねらいとする。最終的に、在宅看護論実習と地域看護学実習との学びを統合し、地域における看護の理解を深める。在宅看護論実習の目的は以下の3つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養者とその家族の療養生活を支えるために全人的なアセスメントを行い、ケアマネジメントの視点をもとに、療養者・家族の意思を尊重した在宅看護を行う。 2. 他機関や多職種との連携・協働を理解し、地域包括ケアシステムにおける訪問看護ステーションの役割・機能を学ぶ。 3. 在宅看護に携わる看護職者としての実践能力と態度を養う。 	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養者とその家族の療養生活を支えるために全人的なアセスメントを行うことができる。 2. ケアマネジメントの視点をもとに、療養者・家族の意思を尊重した看護を行うことができる。 3. 他機関や多職種との連携・協働について説明できる。 4. 地域包括ケアシステムにおける訪問看護ステーションの役割・機能を説明できる。 5. 在宅看護に携わる看護職者としての態度を養うことができる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、 2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、 3. マネジメント能力、 4. 心豊かな人間性と倫理観、 5. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、 6. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力 	
授業計画	<p>実習期間 2021年5月10日（月）～6月4日（金）4週間のうちの2週間 実習施設 大分県内の訪問看護ステーション 実習方法 原則1名の利用者を受け持ち、在宅看護における看護を行う。 様々な在宅看護の場で実践および見学を行う。</p>	
その他の授業の工夫	訪問看護ステーションの利用者を受け持ち、療養者とその家族への看護を通して、在宅看護への理解を深める。また、訪問看護ステーションが連携する多様な施設や職種についても実際の場を経験しながら学ぶ。	
時間外学修	在宅の事例について、実習前後に自己学習を行いながら看護を実践し知識や技術を高める。事前レポートやデイリーレポート、ファイナルレポート等を活用しながら学習を行う。	
評価方法と評価割合	出席日数は100%出席することを原則とし、実習内容や態度、実習記録により総合的に評価を行う。実習期間中に止むを得ず参加できない場合は、至急担当教員に連絡し、指示に従う。無断欠席をした場合は、それ以降の実習に参加できないことがある。	
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論（医学書院）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	福田広美：病院に勤務する看護師 荒木章裕：病院に勤務する看護師 姫野雄太：病院に勤務する看護師 矢野亜紀子：病院に勤務する看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	訪問看護ステーションに勤務する看護師
実務経験をいかした教育内容	看護の実務経験を活かして在宅看護論の知識や技術について教育する。	